

令和元年度第2回社会教育委員会議会議録

令和元年度第2回社会教育委員会議会議録						
開催日	令和元年7月24日(水)			開会時間	10時00分	
会 場	市役所5階 503会議室			閉会時間	12時00分	
委員の 出欠状況	今西 善徳	出	片山 義久	欠	◎久米 隼	出
	山口 真司	欠	高田 陽子	出	関口 泰典	出
	柳下 和弘	出	宇部 章子	欠	岡野 琳恵	出
	花岡 理恵子	出	伊藤 芳夫	欠		
	○村山 喜三江	出	南條 有希子	出		
	小見山 映二	出	山崎 尚子	出	◎議長 ○副議長	
傍聴者	なし					
事務局	【教育委員会】 【生涯学習課】 茂呂課長、鈴木課長補佐、岩瀬主査、西生涯学習推進員 【スポーツ青少年課】 田中課長					
議 題	1 議長・副議長の選出について 2 委員等の選出について ア 和光市図書館協議会委員の選出について イ 社会福祉法人和光市社会福祉協議会理事の選出について ウ 和光市青少年問題協議会委員の選出について エ 和光市人権教育推進協議会理事の選出について 3 令和元年度事業計画について(経過報告)【資料1】 4 社会教育推進に関する意見交換について					

1 開会

2 委嘱式

3 あいさつ

○茂呂 生涯学習課長

教育長は、別の会議に出席しておりますので、私からご挨拶させていただきます。

本日は、令和元年度第2回社会教育委員会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

令和元年度としては、第2回目の会議となりますが、委員改選後、初めての会議ともなります。新たに委員になられた方、また、今期も引き続き、委員をお務めいただく方、ご多忙のところご承引いただき、本当にありがとうございました。

先ほど、委嘱状を交付いたしました、今回15名中8名の方々を新委員としてお迎えいたしました。委員の皆さまには、社会教育活動の実態や地域のニーズを、市民サイドから客観的に把握をしていただきまして、地域住民の社会教育の期待や願いについて、市民と行政の橋渡しの役割となっていきたいと思います。

和光市の社会教育の充実のために、2年間ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

○事務局

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。

4 自己紹介

委員自己紹介

事務局自己紹介

5 議題

(1) 議長・副議長の選出について

・議長 久米 隼 委員

・副議長 村山 喜三江 委員

(2) 委員等の選出について

ア 和光市図書館協議会委員の選出について

・柳下 和弘 委員

イ 社会福祉法人和光市社会福祉協議会理事の選出について

・村山 喜三江 委員

ウ 和光市青少年問題協議委員の選出について

・小見山 映二 委員

エ 和光市人権教育推進協議会理事の選出について

・岡野 琳恵 委員

(3) 令和元年度事業計画について(経過報告)【資料1】

○事務局

資料1「令和元年度事業計画」に基づき説明

○議長(議事進行)

この計画についてご質問は、ありますか。

○小見山委員

資料2で示されている市民まつりの日程が11月11日(日)となっていますが、よろしいのでしょうか。

○事務局

市民まつりは、11月10日の日曜日に実施いたします。申し訳ございません。

○議長(議事進行)

他にご意見、ご質問等あればお願いします。

○関口委員

スポーツ青少年課の事業計画のなかに協働事業が示されていますが、年度によって回数や内容は変更しているのでしょうか。

○事務局

年度によって変更しております。

○議長(議事進行)

他にご意見、ご質問等あればお願いします。

○山崎委員

資料の2に「人権講演会」の開催予定が示されていますが、どなたか講師をお招きして講演をしているということでしょうか。

○事務局

「人権講演会」は、年1回開催を予定しております。昨年は、山口県人権啓発センターの事務局長をお迎えして実施しました。インターネット上での実例を踏まえ部落差別解消に向けたお話をうかがいました。今年度も適切に講師を選定し、開催できるよう調整を進めております。

○山崎委員

大事なことですし、よい取組だと思います。本日も「ヘイトスピーチを許さない」、「同和問題について考えてみませんか」等の資料をいただきました。ありがとうございます。

市内小・中学校でも人権教育を推進しています。学校に勤務していた頃は人権課題について話し合った後、各自の考えを作文としてまとめさせました。さらに、発表や意見交換をとおして人権感覚を高めていくよう指導していました。

子どもたちが真剣に考えたことを市内で発表する機会が設けられれば、さらによいのではないのでしょうか。大人だけに限って、小中学校だけでと考えると、市の人権教育推進のため、全体として取組を見直していくことも大切ではないのでしょうか。

○事務局

前向きに検討いたします。

○山崎委員

ありがとうございます。

○議長(議事進行)

他にご意見、ご質問等あればお願いします。

○関口委員

人権については、総務人権課が担当しているのではないのでしょうか。教育委員会と総務人権課との関係や連携をおしえてください。

○事務局

行政窓口として総務人権課があり、一般市民の人権問題や課題について対応しております。教育委員会は人権教育を担当しており、児童生徒に対する指導は学校教育課が、市民の方々を対象とする啓発事業は生涯学習課が所管しております。総務人権課と教育委員会各課は常に連携をとり、一体となって人権課題の解決、解消に努め、人権意識の育成や高揚を図っております。

○関口委員

ありがとうございます。

○議長(議事進行)

他になれば、次の議題に進めていきたいと思います。議題4の「社会教育推進に関する意見交換について」にうつります。事務局からお願いします。

(4) 社会教育推進に関する意見交換について

○事務局

市町村の社会教育委員は、地域に密着しているという特性から、次世代を担う児童の健全育成、家庭教育支援、青少年団体活動の奨励、青少年教育等への関与と助力が期待されています。

今回の会議は、委嘱後初めての会議となりますので、委員の皆さまには自己紹介も兼ねて、これまでの活動や経験等をお話していただきます。また、任期期間(2年間)の会議において、委員の皆さまで話し合いたいテーマや受けた研修の内容等をお一人ずつ伺いしたいと思います。

なお委員の皆様の任期は2年となっており、全5回の会議が予定されています。今年度の次回会議開催は3月末、令和2年度は6月と3月、令和3年度は6月の会議をもって任期が終了となります。

皆さまから頂きましたご意見をもとにして今後の会議でのテーマや研修内容を検討してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長(議事進行)

事務局から説明が終わりました。自己紹介も兼ねて、みなさんから話ししていただきます。今後の会議でのテーマや研修内容についても可能な範囲でご意見をおきかせください。今西委員より順にお願いします。

○今西委員

高等学校校長という立場で参加しております。生涯スポーツという観点からみると、スポーツをする環境に恵まれているとはいえないと思います。私の子どもの頃は、公園でキャ

ッチボールをしている姿はありふれたものでしたが、そんな姿を見かけることも少なくなってきました。高校生男子でもボール投げが苦手という生徒が多くいます。スポーツに気軽にふれることができる、親しむことができる環境を整える必要性を感じます。

人生百年時代と言われています。社会教育、生涯学習、生涯スポーツ等はこれからますます大切になることでしょう。学校では、地域との連携、社会教育との連携も重要な視点です。

文部科学省は、学校の部活動を地域のスポーツ活動に委ねていくことや地域の方に授業に参加していただくことなどを提言していますが、簡単に進められることではありません。社会教育と学校教育の連携は、非常に大きな課題であると思っています。

本日の資料には、生涯学習に関する事業の実施状況が年度ごとにまとめられています。長期的な展望を持ち、内容が深化していくように計画する事業を考えることも大切だと思います。先ほど、生涯学習講座については、講師と依頼者のマッチングがうまくいっていないというお話がありました。生涯学習や社会学習に携わる人材の確保や育成も課題のひとつだと感じました。

○柳下委員

児童相談所に勤務していた頃は、多くのケースを担当し、時間も人も足りないという切実な思いをしていました。子どもたちが虐待などの被害者にならないようにするためには、子どもの置かれた状況にいち早く気づく大人の意識を高めることや地域社会全体の意識を高めていくことが喫緊の課題だと思います。

現在、幼稚園に勤務していますが、子どもの健やかな成長のために大人はどんなことができるのだろうか、子どもたちにはどんなことを伝えていったらよいのだろうかを考える日々が続いています。虐待の件数が年々増加していますが、未然防止のための取組や子どもの意識啓発に関する研修が計画できるとよいと思います。

大学で講演をした経験があります。虐待について理解していない学生の存在に気づきました。学生が虐待の状況を把握していないこともわかりました。

学校以外の場所で、子どもたちが自分の思いを伝えられる場所が和光市にはないように思います。子どもたちも安全に安心して生きていくまちづくりも大切な視点でしょう。

○花岡委員

文化団体連合会の代表として参加しています。連合会は、15団体で構成されていますが、どの団体も高齢化が切実な問題となっています。しかし、人生百年の時代、社会教育事業に携わって生き生きと生活している方もたくさんいらっしゃいます。市の社会教育事業について理解を深め、各文化団体に情報を提供しながら、積極的な参加を呼びかけていきたいと思っています。

○小見山委員

ボーイスカウト連盟は、青少年の優れた人格を育成し、国際友愛の精神の増進をねらいとして、3つのちかいと8つのおきてに従って活動しています。3つのちかいは、自分の名誉のためにちかうものです。

ボーイスカウト活動は年齢によっていくつかのグループに分かれていますが、いろい

るな問題が起きることもあります。解決のために助言をしたり、話し合いをしたりすることがありますが、このような状況の対応のために、一昨年前から二十歳以上のスカウトと指導者は、セーフ・フロム・ハーム(SFH)の研修を受けることが義務付けられました。(SFH: あらゆる危害—いじめ、虐待、ネグレクト、搾取等—から青少年、それに関わる大人たちを守り、撲滅していくことを目指す方針)

和光第1団では、新倉民家園の活動に協力したり、市民まつりに参加したりしています。市民運動会のお手伝いもしています。スカウト運動のはしらのひとつである野外活動を充実させることはもちろんのことですが、市内での奉仕活動も重視しています。市内の施設で活動することがありますので、お礼の気持ちがお届けできるように飯盒炊爨などの特技を生かして、地域や市民のみなさんとの関わりを深める取組も進めています。

○高田委員

育てる会連合会を代表してまいりました。育てる会連合会の構成も現在18団体となり、年々減ってきています。より多くの方に連合会の活動に参加していただけるように企画を工夫しています。育てる会に参加したくてもできない地域の方に対して、どのような支援ができるのか検討しているところです。

個人的なことを申し上げて恐縮ですが、中学生の子どもは部活動の日数が少なくなった関係もあり自宅で過ごす時間が多くなりました。充実した時間ばかりではないようです。地域の活性化や教育力の向上につながる中学生の活動の在り方を考えています。

○南條委員

NPO 法人 和光子育てネットワークからまいりました。「親子ひろば(もくれんハウス)」のスタッフをしております。また、「わこうプレイパーク」という野外での子どもたちの居場所づくり事業にも関わっております。

学校や幼稚園・保育園だけでなく、子どもたちが自分の居場所がほしいという気持ちをもつことがあると思います。子どもたちを受け入れる場所をつくることが大事だと思っています。大人が声をかけたり、学校では会わない友だちと集団遊びをしたりして、ふだんとは違うコミュニケーションがとれるように配慮しています。いろいろな特性があるお子さんがいますが、スタッフの共通理解のもと個に応じた支援を心がけています。虐待や不登校といった問題を抱える子どもたちの受け皿をつくるのが社会の課題であると思います。

先日の参議院議員選挙で若年層の投票率が非常に低いという結果が出ていました。埼玉県や和光市でも同様の結果となっているようです。学校でも主権者教育を進めていますが、選挙に行くことは当たり前だという雰囲気をつくるいろいろな面からアプローチして培っていくことが大切でしょう。子どもが模擬投票をして主権者教育をしている例も、海外では見られます。ゲーム感覚で自然に学んでいくようです。主権者教育を生涯学習のひとつの研修テーマとすることもよいのではないかと思います。

○山崎委員

和光で育ち、和光に住んでいます。お役に立ちたいと思っています。

先ほどの大学生が虐待について十分な理解を持っていないというお話に衝撃を受けて

います。情操をはぐくんでいくためには、学校教育だけではなく家庭教育も重要です。母となる女子の教育も含めて、社会教育はますますクローズアップされるのではないのでしょうか。

教育施設としては、まず、公民館や図書館が考えられます。海外の図書館では、市民の居場所が確保され、自由な学びの場が生まれています。保健教育や特別支援教育、ICT教育なども盛んに行われているようです。和光には外国から見えた方も多くいらっしゃいます。アメリカのワシントン州ロングビュー市と姉妹都市提携を結んでいることや東京オリンピック・パラリンピックを控えていることをも考えると国際化はいつそう進むことでしょう。幅広く市民のニーズを把握して、図書館が中心となって社会教育の場を提供していくことが求められているのではないのでしょうか。

○関口委員

和光市に住んで45年ほどになりました。私は越後山土地区画整理組合の理事を務めています。市の都市整備課と協議しながら、その地区に住む人々のためにどのように基盤整備に取り組んだらよいかを考えています。事業のなかで、市民の意見をお聞きしながら、市民のコミュニティ形成や一緒にまちづくりをしていく活動を進めています。

市の審議会にも委員として参加してきました。市民としての立ち位置で行政と何が一緒にできるのか、どういうまちがつくれるのかという問題を考え、10年ほど取り組んできました。

平成28年には、市民文化団体「和光白子文化の会」を設立しました。郷土が生んだ、清水かつらや大石真の業績を市の共有財産として守り、伝える活動に取り組んでいます。

和光市の課題のひとつとして、地域に対する市民の関心が低いことがあげられます。さまざまなアンケート結果からも、住みやすい、住み続けたいと答える方に比べ、愛着があると答える方は少ない状況です。

和光市教育大綱には、「歴史や伝統文化、自然環境などの地域の特性に触れる機会を通して、地域への愛着と誇りを育むとともに、生涯にわたる学びの継続を支援できる社会教育を目指す。」と示されています。子どもたちには、自分たちのまちに誇りを持ってほしいと思います。この意識が、まちづくりにも反映されていくのでしょうか。郷土への関心を深めていきたいと思います。

○岡野委員

これまでの経験から人権に対して関心を持っています。人権教育推進委員会理事に推挙していただき、ありがとうございました。

先ほど報告していただいた生涯学習事業のなかには、これまで自分が参加したり、子どもが参加したりしたものがたくさんありました。「子ども教室」で講師を務めたことを楽しく思い出しました。成人式まで生涯学習事業として実施されていることも知りました。

小学生は参加できるのに中学生は参加できない事業もあります。子どもたちが成長に応じて選択できる事業、児童期から青年期までの計画的な社会教育事業の実施が必要ではないのでしょうか。

○村山委員

体育協会で活動しています。今日も協働事業であるテニス教室の開会式が終わってから

こちらへやってきました。下新倉小学校で実施している水泳教室も大変な人気で、定員をはるかに超える応募者がありました。よいお返事ができないことは大変心苦しく思っています。市との協働事業もその年によって時期や回数が変わりますが、グランドゴルフ等、たくさんのご高齢の方が楽しみにしている事業があります。私も活動をとおして新しく教えていただくことがたくさんあります。

ただいま、それぞれの組織や団体で活躍されているみなさんの活動を聞かせていただきました。これまでの社会教育委員会での協議を振り返ってみると、みなさんがそれぞれ専門に近いお立場から発言されるので、全体の協議成果をまとめ上げにくいという傾向を感じています。テーマを決めて、取組んでいければよいと考えています。

○久米委員

私は、全国福祉未来ネットワークの理事長を務めておりました。ボーイスカウトの経験もあります。みなさんのお話をお聞きしていると、いろいろなところで共通している部分があるように思います。社会を変えていくには、いろいろな方法やアプローチが必要でしょう。社会教育は、資料からもわかるとおり、幅広い役割を持ち、幅広い範囲を対象としています。昨年度から、テーマをひとつに絞って検討してきました。今後二年間、みなさんと一緒に進めていきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長(議事進行)

生涯学習、あるいは社会教育を中心としてテーマを決めて会議を進めていきたいというご意見をいただきました。事務局には、今後の会議計画にあたり検討していただくようお願いします。以上をもちまして、議長の役を解かせていただきます。委員のみなさまにはご協力いただき、ありがとうございました。

○事務局

本日はお忙しい中、長時間に渡りましてご意見等を頂きまして誠にありがとうございます。今回の会議の中で皆様からいただきましたご意見につきましては、今後の社会教育関連事業の推進に反映できるよう努力して参りたいと思います。また、意見交換の中で委員の皆さまからいただきました、今後話し合いたいテーマや研修要望等につきましても、次回以降の会議に反映していきたいと思いますので、今後とも社会教育行政にご尽力賜りますようお願いいたします。

会議録公開に関する今後のスケジュールですが、この後、事務局では、本日の会議の会議録を作成し、各委員の皆様にご覧いただき確認をしていただいた後、市HP・市役所1階行政資料コーナー・図書館で閲覧できるようにします。お忙しいところ恐縮ではございますが、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

また、「第50回 関東甲信越静社会教育研究大会 埼玉大会」が令和元年11月7日(木)～8日(金)に川越市のウェスタ川越にて開催されます。参加希望の場合は8月15日(木)までに生涯学習課までご連絡ください。

6 閉会